

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.123

☎環境保全課 29-5100

温暖化と熱中症対策

6月も半ばに差し掛かり、これからますます暑い季節がやってきます。近年、この暑さについてニュースや新聞でもたびたび取り上げられています。

全国的に気温は上昇傾向にあり、猛暑日（日最高気温35℃以上）や真夏日（日最高気温30℃以上）の年間観測日数も年々増加しています。山口県や岩国市の気温も同様に上昇しており、この30年間で平均しておよそ1℃上昇しました。

これは大気中の二酸化炭素濃度増加による「地球温暖化」や都市化の進展による「ヒートアイランド現象」などが原因だと考えられています。

そうした影響で、年によって変化はあるものの、熱中症で救急搬送される



▲緑のカーテンには蒸散効果があるため、すだれよりも効果的です

人の数も年々増加する傾向にあります。これから本格的な夏を迎えるに当たり熱中症対策は極めて重要です。

人が感じる暑さ（体感温度）は、気温だけでなく、湿度、風の強さ、日射熱い物体からの赤外放射によっても影響を受けます。気温が高くなっても、湿度が高く風がない日は、発汗機能がうまく働かず熱中症になりやすいので注意が必要です。また夏の晴れた日中には、気温が30℃程度であっても、日なたでの体感温度は40℃以上になることもあります。

体感温度を下げる工夫として、適度な空調使用や、すだれ、緑のカーテンの活用などがあります。打ち水をして周囲の温度を下げることも効果的です。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

☎環境事業課 31-5304

☎環境事業所 31-7710

総合支所

環境学習に役立ててください

●施設見学

第一工場とリサイクルプラザでは、家庭から出されたごみの分別処理の様子や施設の状況などを見学することができます。見学後のアンケートでは、多くの人が「見学して良かった」「ごみ処理に対する理解が深まり、分別の大切さを再認識した」と回答しています。

●甲 環境事業所 ☎ 31-7710

●DVDの貸し出し

市内に在住または通勤・通学をしている人へ、リサイクルに関するDVDを貸し出しています。内容はリサイクルプラザの施設紹介、各種容器包装のリサイクルの流れです。

●甲 環境事業課 ☎ 31-5304

※自治会や子供会、会社の研修などに活用してください

■ごみ処理家計簿

減量効果		4月分
前年	処理費用換算	-782万円
同月比	排出量（市民1人1日当たり）	-58g(829g)

処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります



▲リサイクルプラザの見学風景